

交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本

NO, 5

2020年 2月13日

2020年度東京総合車両センター「業務量等」について

2020年2月13日「2020年度東京総合車両センター『業務量等』について」の支社からの提案を受けました。

提案資料の前文では

☆首都圏における安全で快適な車両を提供する。

☆輸送品質の向上に向け、引き続きグループ会社と一体となって取り組む。

と謳われています。

《支社提案の主な内容》

1、一部定期検査の業務量調整

※大宮に移管

2、新系列車両の各種改造工事の施工

※国府津車両センターE231系機器更新工事

常磐緩行線 E233系ホームドア関連改造工事

モニタリング装置予備編成化工事など

3、一部改造工事の業務量調整

※大宮、長野、秋田へ移管

4、機械設備維持管理業務の委託範囲の変更

※法令機械、重要機械、一般機械などの委託範囲を
拡大する

5、標準数は、「車両職△11」



《主なやり取り》

組合: 委託先はどこになるか

会社: 「JRTRM」

組合: 委託先の技術力は施策に合致するか

会社: エルダー社員も多くいる、教育も行う

組合: 「TKの将来構想」の進捗状況は

会社: 必要設備・レイアウトなど含め“検討段階”

職場に持ち帰り検討を加え、職場環境改善の実現はもとより、『マザーベース』としての機能を十二分に発揮できるように、業務に関する施設・設備・教育・委託業務などについて問題提起を行うことを考えています。

より良い職場とより良い会社を創造するために、知恵と力を発揮しましょう！